

## 【6】 インシデント事例からの注意喚起

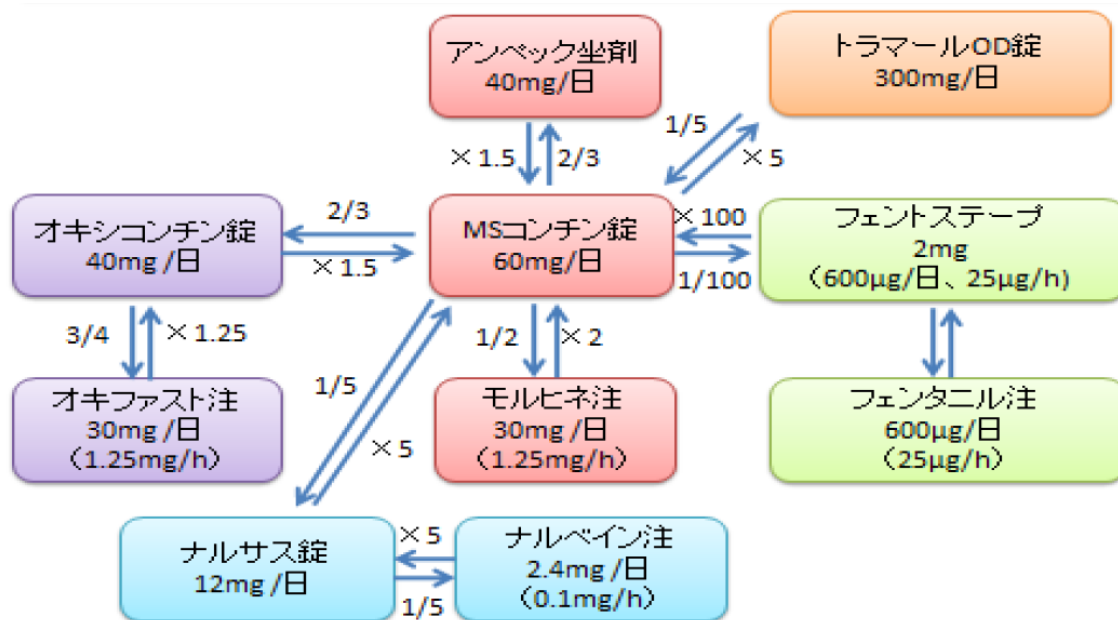
院内インシデント報告の中から、医薬品を安全に使用するために注意すべき事例などを挙げています。

### 医療用麻薬の取り扱いについて

医療用麻薬は、優れた鎮痛・鎮咳作用を有するため、診療において必要不可欠な医薬品である一方、ひとたび乱用されると乱用者個人の健康被害に留まらず、社会にも大きな弊害をもたらすこととなります。乱用による社会問題を防止し、麻薬を真に優れた医薬品として利用するために、医療用麻薬の取り扱いには十分な注意が求められます。今回、当院採用のオピオイド製剤一覧表を作成し、オピオイド換算や麻薬事故等に関する注意点をまとめましたので、ご参照下さい。

表 当院採用オピオイド製剤一覧表

薬剤名		剤形	規格	放出機構	区分
一般名	商品名				
モルヒネ塩酸塩	オプソ	内服液	5mg, 10mg	速放性	麻薬
	モルヒネ塩酸塩	散 (院内製)	10%	速放性	麻薬
	モルヒネ塩酸塩	注	200mg/5mL, 10mg/1mL, 50mg/5mL	—	麻薬
モルヒネ硫酸塩	MSコンチン	錠	10mg, 30mg	徐放性	麻薬
	モルペス	細粒	2% 10mg/包	徐放性	麻薬
オキシコドン	オキシコンチン	TR錠	5mg, 10mg, 20mg, 40mg	徐放性	麻薬
	オキノーム	散	2.5mg, 5mg, 10mg, 20mg	速放性	麻薬
	オキファスト	注	50mg/5mL	—	麻薬
フェンタニル	アブストラル	舌下錠	100 $\mu$ g	速放性	麻薬
	デュロテップMT	パッチ (貼付剤)	8.4mg	徐放性	麻薬
	フェンタニル	注	0.1mg/2mL, 0.5mg/10mL	—	麻薬
	フェントス	テープ (貼付剤)	0.5mg, 1mg, 2mg, 4mg	徐放性	麻薬
ヒドロモルフォン	ナルサス	錠	2mg, 6mg, 24mg	徐放性	麻薬
	ナルベイン	注	2mg	—	麻薬
	ナルラピド	錠	1mg, 4mg	速放性	麻薬
トラマドール	トラマール	OD錠	25mg	速放性	—
	ワントラム	錠	100mg	徐放性	—
コデイン	コデインリン酸塩	散	10%	速放性	麻薬
ペチジン	ペチジン	注	35mg/1mL	—	麻薬
ブプレノルフィン	レペタン	坐剤	0.2mg	—	向精神薬
		注	0.2mg/1mL	—	向精神薬
ペンタゾシン	ソセゴン	錠	25mg	速放性	向精神薬
		注	15mg/1mL	—	向精神薬



2018.8 当院緩和ケアチーム作成がん疼痛ガイドラインより

図 オピオイド換算

### 【麻薬事故発生時の注意点について】

今年度、院内において、麻薬事故等に関する以下のような事例が報告されています。

- ・ 注射麻薬の点滴ルート漏れ（接続部のゆるみや外れ，ルートの敷き込み，自己および事故抜針等）
- ・ 注射麻薬の空アンプル誤廃棄
- ・ 注射麻薬調製中のミス（シリンジ充填ミス，アンプルの落下，薬液を廃棄した等）
- ・ 内服麻薬の破損（服用後の嘔吐，服用時の落下等）

事故が発生した際には、速やかに薬剤部薬務管理室（内線：6109，時間外：2943）まで連絡ください。

また、下記の通り関連物を可能な限り回収し、保管するようお願いします。

- ・ **注射剤**の場合：残液，こぼれた薬液を吸収したもの，拭いたもの，空アンプルは，可能な限り回収し，確実に保管してください。
- ・ **内服剤**の場合：こぼれた薬液を吸収したもの，拭いたもの，落下等により破損となった薬剤は，可能な限り回収し，確実に保管してください。内服後に嘔吐し吐物内に薬剤が含まれる場合，吐物等も可能な限り保管してください。

なお、麻薬事故発生時は、当該麻薬の投与を直ちに中止し薬剤部へ返却をお願いします。継続使用が必要な場合には、その必要性を十分に検討した上で、新たに処方された麻薬を使用してください。特に、嘔吐による破損や点滴ルートの自己抜去が要因である場合には、投与経路の変更等もご検討ください。

麻薬を取り扱う場合には、常に、麻薬であるという認識を持ち、  
麻薬に関する取り扱い事項を遵守してください。